
クラシックUIの[排架場所]タブを削除

Note

Primo VEを使用している場合、詳細については「[Primo VE](#)」を参照してください。

[メニューに戻る](#)

Almaでは、クラシックUIの[排架場所]タブではなく[Get It]タブに場所情報が含まれているため、Primoのクラシック表示に適用されるCSSスタイルを変更して[排架場所]タブを非表示にする必要があります。

クラシックUIで[排架場所]タブを非表示にするには：

1. バックオフィスのサーバーにprimoユーザーとしてログオンします。
2. 次のコマンドを入力して、表示のカスタマイズに使用されるCSSファイルにアクセスして開きます。

```
fe_web  
cd css  
vi <custom_CSS>.css
```

Note

更新中に上書きされる可能性があるデフォルトのPrimo CSSを変更することはお勧めしません。Primoビューのカスタマイズの詳細については、「[Primoユーザーインターフェイスのカスタマイズ](#)」、「[標準レイアウト](#)」、「[設定オプション](#)」、および「[新規UIのカスタマイズ](#)」を参照してください。

3. CSSファイルに次の行を追加します。

```
.EXLTabsRibbon div li.EXLLocationsTab {display:none}
```

4. CSSファイルへの変更を保存します。
5. [\[Primoホーム\]](#) > [\[すべてを配置\]](#) ページで、すべてのオプションを選択し [\[配置\]](#) を選択します。
6. 検索を実行して、[排架場所]タブがビューに表示されないことを確認します。